

問1 ホウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、どのようなものがたくさん入っていますか。

問2 かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことを何といいますか。

問3 植物の草たけを正しくはかるとき、どこからどこまでの長さをはかりますか。

問4 たねから芽が出て、はじめに出てくる葉のことを何といいますか。

問5 こん虫が、まわりの植物や土、ほかの生き物などの自然と、おたがいに助け合ったりえさになったりして生きていることを何といいますか。

問6 植物が成長して実ができるのは、どのようなようになった後ですか。

問7 平たい形をしていて、白と黒のしま模様があるのが特徴のたねは、次のうちどれですか。

問8 ダンゴムシは、どのような場所で見つけることができますか。

問9 ダンゴムシは、ふだんどのような場所によく見つかる特徴がありますか。

問10 ダンゴムシをさがすとき、もっとも見つけやすい場所はどこですか。

問11 ホウセンカの丸くて小さいたねがたくさん入っている実は、いつできますか。

問12 植物や動物の「表面のようす」をくわしく調べるときは、どのようにして確かめますか。

問13 ヒマワリの花がさき終わった後にできる、しま模様があるものは何ですか。

問14 モンシロチョウの成虫は、何を食べて生きていますか。

問15 土を入れ、指などで穴をあけてたねをまき、最後に水をやるという、大きなたねをまくときの方法を何といいますか。

問16 マリーゴールドのたねができるのは、どのようなときですか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 丸くて小さいたね	ハウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、丸くて小さいたねがたくさん入っています。
問2	答え スケッチ	かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことをスケッチといいます。
問3	答え 地面からいちばん上の葉のつけ根まで	草たけは、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さをはかります。
問4	答え 子葉（しょう）	たねから芽が出たときに、最初に出てくる葉のことを「子葉」といいます。
問5	答え こん虫と自然のかかわり	こん虫がまわりの自然とおたがいに影響し合って生きていることを「こん虫と自然のかかわり」といいます。
問6	答え 花が咲いた後	植物は、つぼみから花が咲いたあとに、実ができます。
問7	答え ヒマワリのたね	ヒマワリのたねは、平たい形をしていて、白と黒のしま模様があるのが特徴です。
問8	答え 石の下のしめったところ	ダンゴムシは、石の下などのしめり気がある場所を好んでくらしています。
問9	答え 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、石の下などの暗くてしめった日かげで見つかる特徴があります。
問10	答え にわにある石の下	ダンゴムシは石の下のしめったところにすんでいるため、にわの石の下をさがすと見つかることができます。
問11	答え 花が咲いた後	ハウセンカの実とたねは、花が咲いた後にできます。
問12	答え 手でさわって確かめる	植物や動物の表面がどのようなになっているかを調べるときは、手で直接さわって確かめます。
問13	答え たね	ヒマワリの花がさき終わった後には、しま模様のあるたねができます。
問14	答え 花のみつ	モンシロチョウの成虫は、花のみつを食べます。キャベツの葉を食べるのは幼虫のときです。
問15	答え 大きなたねのまきかた	土を入れ、指などで穴をあけてたねをまき、最後に水をやるのは、大きなたねをまくときの方法です。
問16	答え 花がさき終わった後	マリーゴールドのたねは、花がさき終わった後にできます。